

# 釜石市新庁舎建設基本計画及び基本設計業務簡易公募型プロポーザル 最優秀者選定の結果について

釜石市新庁舎建設に係る基本計画及び基本設計業務について、平成30年9月26日に審査委員会を開催し、審査基準に基づく審査の結果、下記のとおり優先交渉権者を決定しました。

## 記

### 1 提案事業者

4者（株式会社NTTファシリティーズ東北支店、株式会社久米設計東北支社、株式会社佐藤総合計画東北オフィス、株式会社山下設計東北支社）

### 2 優先交渉権者及び講評

#### ・優先交渉権者

【評価点数：114.9点 / 150点満点】株式会社 佐藤総合計画 東北オフィス

#### ・次点

【評価点数：111.6点 / 150点満点】株式会社 山下設計 東北支社

優先交渉権者の提案は、市民協働スペースとして、「みんなのホール」や「屋外ピロティの多目的広場」を市民に開放するなど、豊かな空間を作りながらも、庁舎の機能面として、市民エリアと執務室エリアを明確に区分しているほか、売店（職員生協・コンビニ等）、ATMを地域の住民の方にも利用しやすい配置とするなどの工夫が見られました。

防災機能としては、地震時においても内外装の落下させない工夫を行い、来庁者や職員に対しての安全対策や、土圧壁を設置しての土砂災害対策のほか、新たな復興のシンボルとして、「みんなのホール」「屋外ピロティ」を一時避難所とするなど、防災拠点としての信頼性などがあるレベルに達していると推す声が多くありました。

建設コストについては、免震構造のほか地中熱ヒートポンプを採用する費用の増加についての疑念が出されたものの、設計の各段階でのコストチェック体制は評価出来るものでした。

### 《総括》

短い期間での公募であったにも関わらず、国内を代表する設計事務所4者が技術提案書を提出し、プレゼンテーションに参加して頂いたことに感謝します。

「技術提案を踏まえながら、人・組織を選ぶ」というプロポーザルの本来の目的に照らして、審査においては各審査委員が、提出された提案書を十分に精査した上で、公開でのプレゼンテーション及びヒアリングを行った後に、非公開の審査会において意見交換を行い、各提案に対しテーマごとに評価を行いました。

本プロポーザルには優れた能力を有する設計事務所から、それぞれ高度で充実した提案が提出され、いずれの提案も被災地釜石での復興のシンボルとなる庁舎として建設することを目指した素晴らしい提案でした。

そのため審査会においては、最適の提案を選定するための審査は困難なものでしたが、審査委員がそれぞれの見地からの議論を行い、最終的に審査委員会として最優秀者1者と優秀者1者の選定を行いました。

なお、基本設計に当たっては今後の進捗に伴っての課題（土砂対策・出水対策・道路対策）について、十分な検討を要する必要が有ること。また、建物本体に係わる費用の圧縮など、整理すべき課題等が多いことから十分な議論の上に、計画を進めて行く必要が有るので、ご協力をお願いします。

### 3 審査の経緯等

日 時：平成30年9月26日（月）10:00～16:20

場 所：釜石市民ホール 会議室

釜石情報交流センター 釜石PIT

審査委員（順不動・敬称略）

委員長	南 正昭	（岩手大学 教授）
副委員長	山崎 秀樹	（釜石市 副市長）
委員	小野田 泰明	（東北大学大学院 教授）
委員	小友 光晴	（岩手県建築士会 本部理事）
委員	佐々木 勝	（釜石市 総務企画部長）
委員	菊池 拓也	（釜石市 建設部長）
委員	佐々木 亨	（釜石市 危機管理監）
委員	三浦 康男	（釜石市 都市計画課長）
委員	新沼 康民	（釜石市 建設課長）

経 緯：10:00 審査委員会開会

10:30 提案事業者によるプレゼンテーション及びヒアリング

14:35 最終選考(非公開)各委員による意見交換、採点、  
平均得点の集計

16:20 結果発表及び委員長の講評